

それぞれの太平洋戦争 —手記を中心に—

平成4年1月6日(月)～1月21日(火)

昭和16年12月の日米開戦から半世紀を経た今日、新たな史料や証言が歴史としての太平洋戦争を次第に明らかにしていく一方で、それぞれの戦争体験を書き残し伝えようとする全国のような団体や個人によって、毎年数多くの太平洋戦争の記録が出版され、当館に納入されています。

今回はこうした図書の中から何点かをご紹介します。

展示資料リスト

1. 第二次世界大戦学童疎開記録集 東京女子高等師範学校附属国民学校

お茶の水学童疎開の会 編

東京 1989 全11冊

<YQ4-115>

東京女子高等師範学校附属国民学校の集団疎開の体験を語り伝えるためお茶の水学童疎開の会が関係者から資料を集め、コピーしたもの。全11冊のうち8冊は日記で、すべて実物大のカラーコピー。全部で3組作成され、同会とお茶の水女子大図書館と当館がそれぞれ所蔵している

2. 戦争の記録 第5集 ぼくの父ちゃん兵隊さん

森徳雄 著

美濃加茂 伊深親子文庫 1983 54p

<GB554-1567>

美濃加茂市伊深町の伊深親子文庫が毎年8月15日に刊行している記録集で、現在第13集まで刊行されている。当館は第5集から所蔵

3. 学徒兵われら 久留米第一陸軍予備士官学校第十一期生の記録

久士南鳳会編集委員会 編

東京 1984 836p <GB554-1724>

学徒出陣のさきがけとなった久留米第一陸軍予備士官学校第十一期生の従軍記録

4. **ダモイ・トウキヨウ**

宇野宗佑 著

東京 葛城書房 1949 295p <a914-108>

宇野元総理のシベリア抑留体験に関する手記。昭和27年に『私はシベリアの捕虜だった』という題で映画化もされている。昭和57年には国書刊行会の『シベリア抑留叢書』の一つとして再刊された(当館の請求記号はGB554-1227)

5. **飛魂 海軍飛行科第九・第十期予備学生出身者の手記**

中野弘一 編

岡山 山陽図書出版 1982 258p <GB551-71>

戦争が激化する中で最初に第一線に投入された飛行科予備学生の第九、第十期生の戦死者や戦闘の様子に関する手記

6. **女子学徒たちの敗戦 東京女高師文科生の記録**

22年文科の会 編

京都 草莽社 1978 260p <GB554-679>

東京女高師(現お茶の水女子大)昭和22年卒業の同窓生たちの戦中、戦後の回想、記録をまとめたもの

7. **戦火をこえて 自主講座「平和を考える 戦争体験から」パート1 平和への祈り**

川越 川越市霞ヶ関北公民館 1987 117p <GB554-E219>

川越市在住の人々40人が上記自主講座のために投稿した体験記をまとめる

8. **勇士はここに眠れるか ビルマ・インド・タイ戦没者遺骨収集の記録**

「勇士はここに眠れるか」編纂委員会 編著

東京 全ビルマ戦友団体連絡協議会 1980 607p <GB554-1006>

昭和50年度から3回にわたって行われたミャンマー、インド、タイでの日本兵遺骨収集を、当地でのエピソードや戦史を交えて詳細に記録

9. **レイテ戦に参加 中村興雄遺稿**

中村興雄 著

